

# 【テーマ1】 多彩な都市の魅力があふれ、楽しく過ごせる大阪

めざす方向

◎「大阪都市魅力創造戦略 2020」に基づき、「世界中から人、モノ、投資等を呼び込む『強い大阪』」、「世界に存在感を示す『大阪』」の実現をめざします。

(中長期の目標・指標)

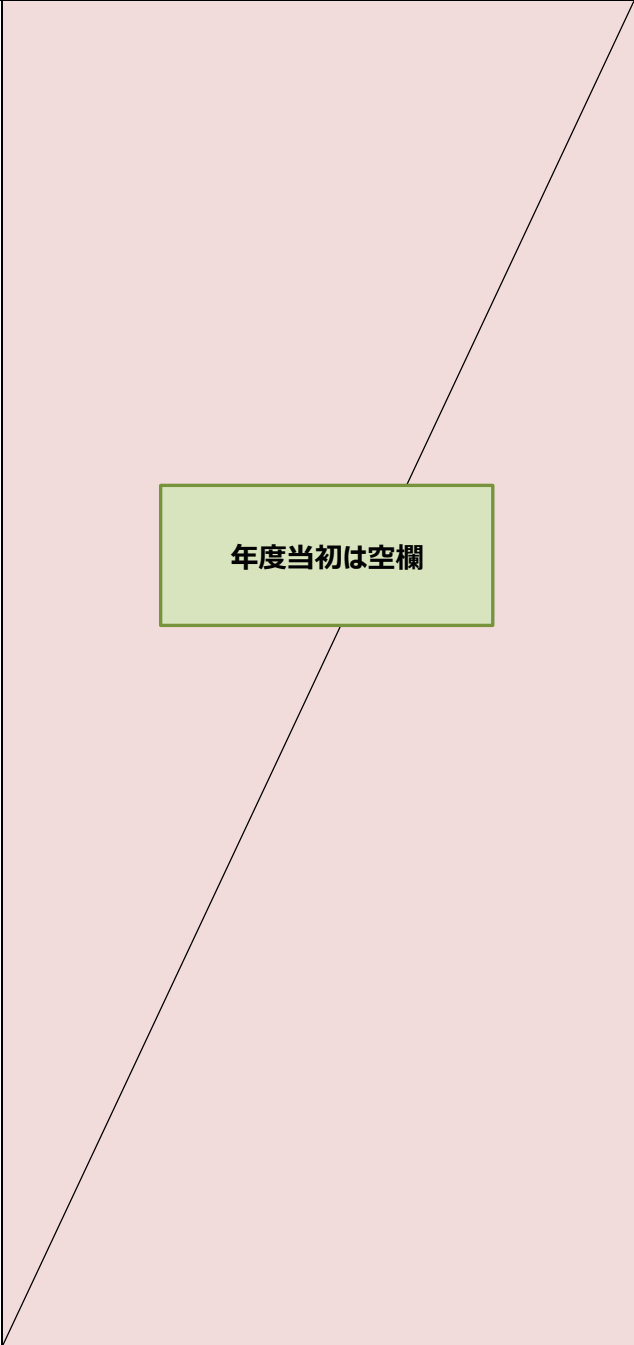
※大阪都市魅力創造戦略 2020 に掲げた主指標 (平成 32 年度までにめざす目標)

- ・来阪外国人旅行者数 1,300 万人
- ・来阪外国人旅行消費額 1 兆 1,900 億円
- ・国際会議開催件数 340 件
- ・延べ宿泊者数 3,600 万人
- ・府内外から人々が集まり、芸術活動が活発になっていると思う府民の割合 40%
- ・文化的環境が整備されていると思う府民の割合 40%
- ・大阪にゆかりのあるプロスポーツ7チームの年間主催試合での観客者合計数 360 万人
- ・成人の週1回以上のスポーツ実施率 50%
- ・大阪で学ぶ留学生数 平成 32 年度：23,000 人、大阪で働く外国人労働者数 平成 32 年度：61,000 人

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（取組結果）＞
<p>■ <b>世界第一級の文化・観光拠点形成・発信</b></p> <p>◆ <b>水と光のまちづくりの推進</b></p> <p>・公民共通のプラットフォーム「水都大阪コンソーシアム(*1)」による水辺・水上の魅力創出・にぎわいづくりの推進</p> <p>○水辺のにぎわいづくり等水都の魅力を結集し、その魅力を発信するイベントを実施</p> <p>○水の回廊を中心とした水辺拠点等をつなぐクルーズの開発や魅力ある舟運の創出</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">(スケジュール)</div> <p>通 年 舟運事業者・関係者とのネットワーク形成、強化</p> <p>30 年 10 月 「水都大阪フェス」の実施</p> <p>・水の回廊のポテンシャルの強化に向け、ICT 等の新しい技術を活用した舟運利用者の利便性の向上や、安全安心な舟運の仕組みづくりの調査を実施</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">◇活動指標（アウトプット）</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「水都大阪フェス」を実施</li> <li>・舟運創造事業を実施（定期航路化に向けた環境整備等）</li> <li>・乗船予約や、安全安心な運航等を支える新たな仕組みづくり</li> <li>・大阪城港に公共船着場を整備するため、測量・土質調査と基本・詳細設計を実施</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">◇成果指標（アウトカム）</div> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水都大阪のさらなる「成長」の促進</li> </ul> <p>(数値目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・舟運利用者数：125 万人</li> <li style="padding-left: 20px;">(平成 29 年度：実績 120 万人(見込み))</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; background-color: #d9ead3; padding: 20px; width: 150px; margin: 0 auto;">年度当初は空欄</div>

<p>(スケジュール)</p> <p>30年 6月 プロポーザルによる事業者公募・決定 30年 7月～ 事業開始 (調査実施)</p> <p>・観光拠点である大阪城公園内における公共船着場の整備に向けて、調査等を行う</p> <p>(スケジュール)</p> <p>30年 4月～ 関係機関調整 30年 7月～ 入札手続き 30年 9月～ 測量・土質調査、基本・詳細設計</p> <p>◆万博記念公園の魅力創出 (50周年含む)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2020年に迎える大阪万博50周年に向けた取組みを進める</li><li>・万博記念公園駅南側及び旧大阪府立国際児童文学館の事業者誘致に向けた取組みを進める</li><li>・入場者数増加に向けた取組みの推進 園内事業者間の連携や広報・イベントの積極的展開等の取組みを進める</li></ul> <p>◆百舌鳥・古市古墳群(*2)の魅力創出</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年1月に、世界文化遺産としてユネスコに推薦された「百舌鳥・古市古墳群」について、イコモス(*3)審査の対応等、平成31年の世界文化遺産登録の実現に向けた取組みを進める</li></ul>
--

<p>◇活動指標 (アウトプット)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大阪万博50周年(2020年3月～)に向けた機運の醸成</li><li>・万博記念公園駅南側の活用方針の策定</li><li>・旧大阪府立国際児童文学館の事業者誘致</li><li>・事業者間の連携や広報・イベントの積極的展開</li></ul> <p>◇成果指標 (アウトカム)</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・万博50周年に向けた機運醸成や公園駅南側の事業者誘致に向けた取組み等により、公園の魅力創出を図る。</li></ul> <p>(数値目標)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自然文化園の入場者数：260万人以上 (平成29年度：225万人)</li></ul> <p>◇成果指標 (アウトカム)</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成31年度の世界文化遺産登録をめざす</li></ul>
---



**(スケジュール)**  
 30年 9月頃 イコモス現地調査  
 30年 12月頃 イコモスパネル(\*4)  
 31年 5月頃 イコモスからユネスコへの勧告  
 31年 7月頃 世界遺産登録の可否

**◆大阪観光局の活動支援による戦略的な観光集客**  
 ・大阪観光局が実施する国内外での戦略的なプロモーション、Wi-Fi 環境の整備推進、観光情報の発信等、集客促進に向けた活動を支援  
 また、国の地方創生推進交付金を活用して、観光データ収集、マーケティング強化を行うとともに、市町村事業との連携を図る等、「大阪版 DMO (\*5)」としての機能強化を推進し、戦略的に観光集客を促進

**(スケジュール)**  
 通年 プロモーション活動の実施、Wi-Fi 環境の整備、マーケティング活動の推進等

**◆MICE (\*6) 誘致の推進**  
 ・「大阪における MICE 推進方針 (平成 29 年 3 月)」に基づき、大阪経済活性化につなげていくため、大阪市・経済団体・大阪観光局とともに、戦略的に MICE 誘致を推進

**(スケジュール)**  
 通年 他の関係機関との連携のもと、MICE 誘致活動を推進  
 30年 8月頃 MICE 推進委員会の開催  
 31年 1月頃 MICE 推進委員会の開催

**◇活動指標 (アウトプット)**  
 ・国内外プロモーションの実施、観光案内機能の充実、戦略的マーケティング調査の実施

**◇成果指標 (アウトカム)**  
 (定性的な目標)  
 ・国内外からの観光集客の一層の促進を図る

(数値目標)  
 ・来阪外国人旅行者数：1,181 万人  
 (平成 29 年度：1,111 万人)  
 ・延べ来阪宿泊者数：3,392 万人  
 (平成 29 年度：3,270 万人)

**◇活動指標 (アウトプット)**  
 ・MICE 推進委員会の開催とともに、MICE 誘致推進に向けた関係機関によるネットワーク強化

**◇成果指標 (アウトカム)**  
 (定性的な目標)  
 ・MICE を通じて、多彩な人が訪れ、集い、交流する活気あふれる都市をめざす

(数値目標)  
 ・国際会議開催件数：303 件 (JNTO 基準)  
 (平成 29 年度実績は、秋頃公表予定)

年度当初は空欄

■多様な観光資源の発掘・発信

◆国内外の人々を惹きつけるキラーコンテンツの創出

・大阪のメインストリートである御堂筋を集客装置として活用して、非日常的なオンリーワンコンテンツを通じて大阪の魅力を国内外に発信し、多くの方に大阪を訪問していただくための起爆剤となるイベントを実施

(スケジュール)

30年11月4日 御堂筋オータムパーティー2018の実施

◆ナイトカルチャーの発掘・創出

・「御堂筋イルミネーション 2018」と「OSAKA 光のルネサンス 2018」をコアプログラムとして、民間等の実施する光のプログラムと連携して、インパクトある様々な光空間を演出する「大阪・光の饗宴 2018(\*7)」を実施  
・夜間公演等に積極的に取り組む事業者に対して、事業の立ち上げ等に必要な経費を支援

(スケジュール)

30年 5月中 補助対象事業の決定  
30年11月4日～31年1月31日  
「大阪・光の饗宴 2018」の実施  
(30年11月4日～31年12月31日  
「御堂筋イルミネーション 2018」の実施)

◇活動指標 (アウトプット)

・御堂筋オータムパーティー2018の実施

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)  
・御堂筋を国内外に発信できる集客装置として活用して、国内外からの話題を集め、御堂筋・大阪の魅力を発信

(数値目標)  
・テレビ・新聞・雑誌の掲載回数 90回以上  
(平成29年度：88回)  
うち首都圏メディアでの掲載取上げ回数 30回以上  
(平成29年度：28回)  
・Web掲載回数 600回以上  
(平成29年度：560回)

◇活動指標 (アウトプット)

・御堂筋イルミネーションについて、イチョウ並木を中心にインパクトあるイルミネーションを施した「大阪・光の饗宴 2018」の実施  
・夜間公演等の事業の立ち上げや継続に向けた取組みに対し、補助を実施

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)  
・インパクトある光空間を演出し、国内外からの更なる誘客につなげる  
・夜間公演等の充実支援等を通じて、国内外からの旅行者の要望の多いナイトカルチャーを発掘・創出

(数値目標)  
・大阪・光の饗宴全体の来場者数 1,400万人以上  
(平成29年度：1,367万人)  
・大阪・光の饗宴として連携実施する民間等の団体数をさらに拡大：20団体(平成29年度：19団体)

年度当初は空欄

◆大阪ミュージアム(\*8)の推進

・大阪ミュージアム登録物を活用して地域魅力を府内外に発信するとともにSNSやホームページ等による認知度を更に向上させる  
また、府域への集客・回遊を促す事業を展開する「地域魅力発信事業」を実施

(スケジュール)

30年 5月中旬 プロポーザルによる事業者選定  
30年 6月上旬 事業開始  
31年 3月末 事業終了

◆観光振興施策の充実に向けた宿泊実態調査

・大阪の宿泊実態を調査・把握すること等により、今後の宿泊税制度や観光振興施策のあり方の検討につなげる

(スケジュール)

30年 5月 調査実施  
30年 6月 調査回収、中間報告  
30年 7月 結果集計、報告書作成

◇活動指標 (アウトプット)

- ・恒常的なまち魅力向上支援事業による市町村の観光資源の整備に対し、補助を実施
- ・「地域魅力発信事業」による雑誌等への大阪の魅力の掲載
- ・民間のイベントとの連携 (ウォーキングイベント、イルミネーションフォトコンテスト、大阪割烹体験)
- ・民間イベントによる大阪の魅力発信 (音楽イベントでのPR等)

◇成果指標 (アウトカム)

- (定性的な目標)
- ・府内外への大阪の魅力発信、集客・周遊の向上
  
- (数値目標)
- ・参加者満足度：90%以上 (平成29年度：91%)

◇活動指標 (アウトプット)

- ・大阪の宿泊実態を把握するため、宿泊施設を対象とした調査を実施

年度当初は空欄

文化・スポーツを活かした都市魅力の創出

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（取組結果）＞
<p>■国際的なスポーツイベントの開催</p> <p>◆ラグビーワールドカップ 2019(*9)の開催準備</p> <p>・東大阪市花園ラグビー場をはじめ全国 12 会場で行われる本大会まであと1年半となり、大会成功に向け、プロモーション活動による一層の機運醸成及び認知度向上を図るとともに、スポーツの街「大阪」を内外にアピールするため、広報・啓発事業を展開する</p> <p>また、本年 10 月に予定される花園ラグビー場でのテスト試合（日本代表戦）を通じて、大会運営の課題を検討し、本番に向けた準備を東大阪市と進めていく</p> <p>(スケジュール)</p> <p>通 年</p> <p>＜広報・普及啓発事業＞</p> <p>ボランティア募集、大会開催 1 年前イベント、トロフィーツアー等の時期に重点的に広報・普及啓発を展開するとともに、年間通じたプロモーションを行う</p> <p>＜大会運営の課題検討＞</p> <p>昨年度策定の交通輸送、ファンゾーン運営計画の実施に向けた調整。また新たに警備、医療等にかかる体制整備を図る</p> <p>30 年 10 月</p> <p>テスト試合（日本代表戦）の開催に伴う大会本番を想定したファンゾーン等の試行実施</p> <p>◆オリンピック・パラリンピックのホストタウン(*10)登録の推進等（フラッグツアー）</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックに向けた機運の醸成や国際交流、府民のスポーツへの関心や大阪の世界的な知名度の向上を図るため、引き続き、ホストタウン登録に係る市町村の取組みや、既登録の市町村の具体的な活動を支援する</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>・トップリーグ試合会場等でのプロモーション活動：30 回 （平成 29 年度：27 回）</p> <p>・大会本番を想定したテスト試合（日本代表戦）及びファンゾーン等の試行実施により課題を検証</p> <p>・大会運営の課題についての対応方策の具体化</p> <p>◇成果指標（アウトカム） （数値目標）</p> <p>・府民のラグビーワールドカップ開催の認知度：75%以上 （平成 29 年度：65.2%）</p> <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>・ホストタウン登録に係る市町村の取組の支援件数：20 件</p> <p>・既登録市町村間の情報交換の場の設定</p> <p>・フラッグツアー歓迎行事及び、市町村等巡回展示の実施</p>	<p>年度当初は空欄</p>

また、東京オリンピック・パラリンピック組織委員会等の要請に応じ、フラッグツアー(\*11)の歓迎行事や、市町村等巡回展示を行う。

(スケジュール)

<ホストタウン>

通 年

- ・登録希望市町村の活動支援（市町村に応じた競技団体や在関西領事館等への働きかけ等）
- ・既登録の市町村への活動支援（既登録市町村間の情報交換の場の設定、全国のホストタウン事業の紹介等）

<フラッグツアー>

30年 5～11月 フラッグツアー準備調整

30年 11～12月 フラッグツアー歓迎行事、市町村等巡回展示の実施

◆ワールドマスターズゲームズ 2021 関西(\*12)の開催準備

- ・大会の認知度向上、機運の醸成を図るとともに、平成 33年 5月の開催に向けた準備を府内開催 3市（岸和田市、東大阪市、泉南市）と連携しながら進める

(スケジュール)

通 年 府関係イベント等でのPR  
インターネット等による情報発信

30年 8月 1000日前イベント

■スポーツ都市大阪の魅力発信

◆大阪にゆかりのある主なスポーツチーム連携

- ・大阪にゆかりのある主なスポーツチームと連携して都市魅力の発信につなげるための取組を推進する

(スケジュール)

通 年 大阪にゆかりのある主なスポーツチームによる連携事業の検討及び実施（各チームのホームゲームでのイベントの実施等）

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ・ホストタウン登録の追加

◇活動指標（アウトプット）

- ・イベント等でのPR：昨年度以上  
（平成 29 年度：91 回）
- ・1000 日前イベント（組織委員会・府・政令市と連携した協働イベント）の実施

◇成果指標（アウトカム）

（数値目標）

- ・府民のワールドマスターズゲームズ 2021 関西の府民認知度：40%以上（平成 29 年度：21.8%）

◇活動指標（アウトプット）

- ・大阪にゆかりのある主なスポーツチームと連携したイベントの実施：延べ 10 回以上（平成 29 年度：延べ 9 回）

◇成果指標（アウトカム）

（数値目標）

- ・大阪にゆかりのある主なスポーツチーム 7 チームの年間主催試合での観客者合計数：320 万人  
（平成 29 年度：280 万人）

年度当初は空欄



◆第8回大阪マラソン(\*13)の開催（新コースの検討含む）

・御堂筋、道頓堀、中之島、通天閣周辺等、大阪のランドマークを32,000人のランナーが駆け巡る国内最大級の都市型市民マラソン「第8回大阪マラソン」を開催する  
また、より一層魅力的な大会とするため、第9回大会（平成31年度）に向け、大阪市中心部をゴールとするコース変更を検討し決定する

（スケジュール）

- 30年4月 第8回大会ランナー募集開始
- 30年6月 公式イベント「大阪マラソンシーズントライアル2018 10K&ファンラン」開催  
第24回大阪マラソン組織委員会開催（新コース概要公表）
- 30年11月 大阪マラソン EXPO2018 開催  
公式イベント「大阪マラソンシーズントライアル2018 ハッピーモーニングラン」開催  
第8回大阪マラソン開催
- 31年2月 第26回大阪マラソン組織委員会開催（新コース詳細公表）

■オリンピック・パラリンピック等の開催を契機としたレガシーの形成

◆オリンピック・パラリンピアンへの派遣

・スポーツの素晴らしさや感動を伝えるとともに、スポーツマンシップ等への理解を深め、将来のスポーツ振興、人材養成につなげていくため、これまでの小学校に加えてスポーツイベント等にオリンピック・パラリンピックの出場経験者を派遣する

（スケジュール）

- 30年4～6月 派遣先の募集・決定  
オリンピック・パラリンピアンとの調整等
- 30年7月～ 派遣

◇活動指標（アウトプット）

- ・第8回大阪マラソンの開催（11月25日）
- ・新コース詳細公表（第26回大阪マラソン組織委員会開催）

◇成果指標（アウトカム）

- （数値目標）
- ・参加申込者：昨年度以上（平成29年度：130,417人、うち海外13,962人）
- ・参加ランナー満足度：昨年度並（平成29年度：国内97.1%、国外99.0%）
- ・沿道観客者数：昨年度並（平成29年度：130万人）

◇活動指標（アウトプット）

- ・オリンピック・パラリンピアン等の学校等スポーツイベントへの派遣：10回程度

◇成果指標（アウトカム）

- （数値目標）
- ・運動・スポーツに興味・関心を持った参加者の割合：昨年度以上（平成29年度：76%）

年度当初は空欄



■大阪の文化・食の魅力発信

◆大阪文化芸術フェスの開催

・大阪の都市魅力を創造していくため、国内外の文化コンテンツを一堂に集めたフェスティバルを実施し、文化を楽しむ機会を創出するとともに、府内全域に多くの観光客を呼び込む  
あわせて、大阪文化の魅力を発信し、国際エンターテインメント都市の実現と、大阪の都市格の向上を目指す

(スケジュール)

開催期間 30年9月29日～11月4日

◆食でおもてなし・多言語メニュー作成支援

・飲食店のための多言語メニュー作成支援システム「TASTE OSAKA」の普及を図り、多言語メニュー設置店を増やすことで、外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える

(スケジュール)

30年 4月 旅行者向けサイト開設  
30年 5～9月 飲食店向けセミナーをはじめとする普及啓発

◆アーツカウンシル(\*14)を通じた文化施策の向上

・大阪府市文化振興会議が、平成29年11月に取りまとめた「大阪アーツカウンシルのあり方について」に基づき、引き続き「評価・審査」を中心としつつ、「調査」や「企画」の取組を強化していく

(スケジュール)

評価・審査等を随時実施  
アーツカウンシル部会を月1回程度開催

◇活動指標 (アウトプット)

・伝統芸能、演劇、音楽等、府内外のコンテンツを一堂に集め、万博記念公園をはじめ、府内全域で各種公演等を集中的に実施する

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)  
・多彩で豊かな文化資源をもとに、新たなチャレンジにより文化が創造され、また、多様な文化を受容することで、都市魅力を高め、国内外から多くの人々をひきつける都市を目指す

◇活動指標 (アウトプット)

・「TASTE OSAKA」の普及啓発に向けた飲食店向けセミナー等の実施

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)  
・利用登録店舗の増加を図り、外国人旅行者が安心かつ快適に飲食店を利用できる環境を整える  
  
(数値目標)  
・府内飲食店のシステム登録数：2,500件

◇活動指標 (アウトプット)

・府補助事業の評価：33件（平成29年度：33件）  
・効果的な担い手支援方策等、新たな企画提案を行うための調査や意見交換会の実施

◇成果指標 (アウトカム)

(定性的な目標)  
・現場視察や事業者へのヒアリング内容をより充実させる等、細かなレベルでの取組を強化することにより、芸術文化の担い手を支援する等、大阪の文化力の更なる向上のための取組につなげる

年度当初は空欄

◆上方演芸資料館「ワッハ上方(\*15)」の運営とリニューアルによる上方演芸の振興

・上方演芸の魅力をこれまで以上に広く発信し、伝えていくため、現施設を改修し、府民はもとより、国内外の観光客にも上方演芸に触れ、楽しみ、その魅力を体験できる施設をめざす  
また、引き続き、館外展示を実施する

(スケジュール)

30年4月～11月 事業企画・設計  
30年11月～31年2月 工事  
30年12月～31年3月 休館  
31年4月 リニューアルオープン

◆江之子島文化芸術創造センター「enoco(\*16)」の魅力向上と利用促進

・府の収蔵作品の活用（展示・貸出し）をはじめ、クリエイター等への交流の場の提供や、アートやデザインを活用した地域課題の解決のための支援を行うことで、引き続き文化創造拠点としての館の魅力向上に努める  
加えて、ワークショップや体験講座等を年間通じて実施することで、館の利用促進を図る

(スケジュール)

通年 クリエイター等への交流の場の提供  
ワークショップ等の実施  
30年8月、10月、31年1月 収蔵作品を活用した展覧会の実施  
30年10月 大阪文化芸術フェスとの連携事業の実施

◇活動指標（アウトプット）

- ・リニューアルオープン（31年4月）
- ・館外展示の実施：3箇所（平成29年度：3箇所）

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）  
・ワッハ上方を活かし、大阪人のアイデンティティの一つである「笑い」をはじめとする上方演芸の文化を守り、継承していく

◇活動指標（アウトプット）

- ・収蔵作品を活用した展覧会の開催：年3回以上（平成29年度：3回）
- ・大阪文化芸術フェスとの連携事業の実施
- ・地下のフリースペースを活用した交流事業等の実施（2回以上）
- ・ワークショップ等の実施（年8回以上）  
（主に子どもや親子を中心としたプログラムを強化）

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）  
・府の収蔵作品の活用、クリエイターや府民の交流・活動場の提供、アートやデザイン等の手法を活用した課題解決支援等を行うことで、enocoの魅力向上や利用者数の増加を図る

（数値目標）

- ・年間来館者数：延べ155,000人  
（平成29年度：145,331人）

年度当初は空欄

**世界有数の国際都市を目指した受入環境の整備**

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（取組結果）>
<p><b>■旅行者の利便性向上</b></p> <p><b>◆Osaka Free Wi-Fi の設置促進</b></p> <p>・外国人旅行者からのニーズが高い通信環境の整備を促進するため、観光コース等を中心とした地域・エリアのWi-Fi 環境を集中的に整備を支援する</p> <p>(スケジュール) 30年 4月～ 公募開始、補助金交付決定、補助金交付 ※30年度は随時応募を受付</p> <p><b>◆大阪・梅田駅周辺のサイン整備</b></p> <p>・大阪・梅田駅周辺において、共通ルールに基づくサイン整備を行うことにより、来阪者、特に急増する外国人旅行者の周遊性・利便性向上を図る</p> <p>(スケジュール) 30年 4月 「大阪・梅田駅周辺サイン整備検討協議会」の立上げ、共通ルールの検討 30年 7月 共通ルールの策定 30年 9月～ サイン整備事業の実施</p> <p><b>■観光案内機能の強化</b></p> <p><b>◆「トラベルサービスセンター大阪」の運営</b></p> <p>・来阪旅行者の多様化するニーズに応えるため、民間が実施するサービスと連携し、観光案内のみならず旅行時のトラブルにも対応する等、旅行者の利便性向上と安心・安全をワンストップで提供する</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>・Wi-Fi 拠点の拡大促進のための補助を実施 ・26 事業への補助（平成 29 年度：17 事業）</p> <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <p>・旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度の向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進</p> <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>・大阪・梅田駅周辺サイン整備に係る補助制度の創設</p> <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <p>・主要ルートにおける共通サインの整備（～2022 年まで）</p> <p>◇活動指標（アウトプット）</p> <p>・「トラベルサービスセンター大阪」の円滑な運営</p> <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標）</p> <p>・旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度の向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進</p> <p>（数値目標）</p> <p>・利用者満足度：95%以上（平成 29 年度：93%）</p>	<p>年度当初は空欄</p>

◆案内表示の多言語化の推進（市町村観光振興・宿泊施設補助・ストーリー補助等）

・《市町村観光振興》

多言語による観光案内板の設置・改修をはじめ、公衆トイレの整備等、市町村が実施する旅行者の受入環境整備事業を支援する

（スケジュール）

30年 4月～ 公募開始、補助金交付決定、補助金交付  
※30年度は随時応募を受付

・《宿泊施設補助》

多言語による案内板の設置・改修をはじめ、ホームページの多言語化や Wi-Fi 環境の整備等、宿泊施設が実施する旅行者の受入環境整備事業を支援する

（スケジュール）

30年 5月 補助要綱改正・公募にかかる周知  
30年 6月～ 公募開始、補助対象施設の決定、補助金の交付

・《大阪ストーリープロジェクト事業》

大阪の魅力スポットやそれらを巡るルート等にストーリー性を持たせた地域における観光資源の磨き上げを図るとともに、国内外から注目されるストーリーを創出し、観光客誘客の促進、地域の魅力あるまちづくりの促進を図る

（スケジュール）

30年 7月末 補助事業の公募、決定  
31年 3月末 補助事業完了

◇活動指標（アウトプット）

- ・市町村における受入環境整備のための補助の実施
- ・30事業への補助（平成29年度：18事業）

◇成果指標（アウトカム）

（定性的目標）

- ・旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度の向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進

◇活動指標（アウトプット）

- ・宿泊施設における受入環境整備のための補助の実施
- ・30施設に補助（平成29年度：30施設）

◇成果指標（アウトカム）

（定性的目標）

- ・旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度の向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進

◇活動指標（アウトプット）

- ・地域における観光資源の磨き上げや受入環境の整備等に対し、補助を実施
- ・府域の観光コースとしてPRを実施

◇成果指標（アウトカム）

（定性的な目標）

- ・国内外からの集客・周遊性の向上を図るとともに、府内全域への誘客をうながす

（数値目標）

- ・継続して取り組むストーリー：補助事業者が掲げる目標数値を達成した事業の割合70%以上
- ・新たに構築するストーリー数：2ストーリー以上

年度当初は空欄

■インバウンド（外国人）受入環境の整備

◆外国人が安心して過ごせる環境の整備（多文化共生社会をめざす取組み）

・多文化共生社会の方向性を示すとともに、大阪府国際交流財団において、外国人相談や災害時における支援強化の取組みを実践する等、外国人が安心して過ごせる社会の実現に取り組む

（スケジュール）

- 30年5～6月 庁内及び市町村向け会議で多文化共生関連施策の説明
- 30年7月 市町村等と「やさしい日本語」に関するネットワーク会議を立上げ
- 30年8月 多文化共生社会の方向性を示す

◆外国人旅行者の安全確保

・来阪外国人旅行者が急増する中、「新・大阪府地震災害アクションプラン（平成27年3月策定）」に基づき、外国人旅行者の安全確保に向け、情報提供の強化とともに、現場における支援体制の構築を図る

（スケジュール）

- 通年 緊急時お役立ち情報ポータルサイトの周知
- 30年5月～ 「外国人旅行者の安全確保・帰国支援に関するガイドライン」の配布
- 30年8月頃～ 市町村及び観光関連事業者に対する説明会の開催（府内3エリア）

◆市町村における外国人への災害時多言語支援

・外国人が災害時も安心できる環境を整備するため、市町村での災害時多言語ボランティアの確保を支援するとともに、大阪府国際交流財団が実施するボランティア研修等と連携し、市町村における災害時多言語支援体制の充実を図る

◇活動指標（アウトプット）

- ・多文化共生社会の方向性を示す
- ・大阪府国際交流財団と連携して多文化共生施策に取り組む

◇活動指標（アウトプット）

- ・府内観光案内所等で緊急時お役立ち情報ポータルサイトの広報カードを配布
- ・市町村及び観光関連事業者に対して、「支援フロー（案）」、「ガイドライン」の周知啓発を実施

◇成果指標（アウトカム）

- （定性的な目標）
- ・災害情報を入手しやすい仕組みづくりとともに、災害時の円滑な支援体制を構築し、外国人旅行者が安心して旅行できる環境づくりをめざす

◇活動指標（アウトプット）

- ・5市町村において災害時多言語ボランティア確保支援事業を実施

◇成果指標（アウトカム）

- （定性的な目標）
- ・外国人が災害時も安心できる環境を整備する

年度当初は空欄

**(スケジュール)**

- 30年7月～ 市町村災害時多言語ボランティア確保支援事業の実施
- 30年11月 市町村災害時ボランティア研修の実施

**◆適法民泊施設の普及促進に向けた取組み**

- ・適法民泊の普及促進のため、特区民泊（\*17）の認定を受けようとする事業者等への支援とあわせて、府内の保健所設置市が実施する民泊対策を支援する

**(スケジュール)**

<宿泊施設おもてなし環境整備促進事業費補助金、民泊対策事業補助金>

- 30年5月 補助要綱策定
- 30年6月～公募開始、補助対象施設（市）の決定、補助金の交付

**(数値目標)**

- ・5市町村において災害時多言語ボランティア制度を創設

**◇活動指標（アウトプット）**

- ・特区民泊の認定を受けようとする事業者等に対して必要となる設備の整備等に対する補助を実施  
60施設に補助（平成29年度：67施設）
- ・保健所設置市が行う違法民泊対策のための取組みに対する補助制度を創設

**◇成果指標（アウトカム）**

**(定性的な目標)**

- ・旅行者の受入環境を充実させ、利便性や満足度の向上を図ることによるリピーター確保や府内全域への集客促進

年度当初は空欄



大阪の国際化の推進

＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞	＜何をどのような状態にするか（目標）＞	＜進捗状況（取組結果）＞
<p><b>■世界から外国人留学生等優れた人材を呼び込む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インドネシアに開設している大阪留学の PR・相談窓口を活用し、留学情報を発信することにより留学生の増加につなげる</li> <li>・大学や経済団体等との連携により、留学生の就職支援（*18）を実施し、優れた外国人材を大阪に定着させる</li> </ul> <p>（スケジュール） 30年6月～9月 留学生への就職講座・企業見学会（8回）</p> <p><b>■世界で活躍するグローバル人材を育てる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおさかグローバル塾（*19）により、海外の大学での学位取得を目指す大阪の高校生を支援する</li> <li>・グローバル体験プログラム（*20）の参加をきっかけに、外国人に対する英語でのコミュニケーション感覚・能力の必要性に気付かせ、海外に興味を持つ若者の裾野を広げる</li> </ul> <p>（スケジュール） 30年5月～31年2月 おおさかグローバル塾の実施（8/4～8/13 英国リーズ大学へ短期留学） 30年5月～31年2月 グローバル体験プログラムの実施</p> <p><b>■外国公館を活用した国際交流機能の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在関西総領事館等との定期的な意見交換等の機会を通じ、国際交流機能の強化を図るとともに、大阪の魅力を発信する</li> </ul> <p>（スケジュール） 30年6月頃 在関西総領事館向け施設見学 30年11月頃 在関西総領事館との意見交換会</p>	<p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標） ・外国人留学生等優れた人材の受入れを拡大する</p> <p>（数値目標） ・府内外国人留学生の増加 29年度比 3,500人増（平成28年度 18,411人→平成29年度 21,683人（3,272人増））</p> <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標） ・世界で通用するグローバル人材の育成 ・グローバルな視野をもった若者の育成</p> <p>（数値目標） ・おおさかグローバル塾修了者のうち 海外進学レベルの英語力の習得：90%以上（平成29年度：68%） ・グローバル体験プログラム参加者のうち 英語の習得意欲が高まった割合：95%以上（平成29年度：96%） 海外に対する関心が高まった割合：95%以上（平成29年度：98%）</p> <p>◇活動指標（アウトプット） ・在関西総領事館との意見交換会の実施</p> <p>◇成果指標（アウトカム） （定性的な目標） ・在関西総領事館との交流機能の強化</p>	<p>年度当初は空欄</p>